

平成23年度
四国地方整備局関係予算の概要



平成23年 4月 1日
国土交通省四国地方整備局

資料の内容は、ホームページでもご覧になれます。
アドレス <http://www.skr.mlit.go.jp/>

目 次

I. 配分方針	P.	1
II. 平成23年度予算額（当初）	P.	3
III. 主な新規事業と完了（供用）予定事業	P.	5

（参考資料）県別の主要事業

I. 配分方針

平成23年度国土交通省関係予算については、既存の事業を抜本的に見直し、「国土交通省成長戦略(平成22年5月17日公表)」の実現をはじめ、確固たる戦略の下に大胆に予算を組み替えることにより、新たな時代に対応しながら、我が国を牽引する国土交通行政への大きく転換を図る予算を計上したところです。

また、3月11日に発生した「東北地方太平洋沖地震」は、極めて多数の人命と莫大な資産が一瞬のうちに失われるという未曾有の災害であり、その対応については、柔軟な執行を図るとともに、別途措置を検討することとしています。

四国地方では、東北地方太平洋沖地震と同様の海溝型地震である東南海・南海地震や台風等により頻発する自然災害に対し、安全・安心の確保に向けて地域と一体となった取り組みを進めるとともに、美しい自然、四国遍路に代表される独自の「癒やし」「お接待」の文化と、国際的な競争力を有するナンバーワン企業、オンリーワン企業等、確かな力ある産業等との相乗効果により競争力を発揮し、四国地方全体の連携により自立的な発展を促進する必要があります。

このため、四国地方整備局においては、これらの方針を踏まえて、『地域の強みを活かし、四国地方全体の連携によって自立的に発展する地域づくり』に向けて、必要な社会資本整備を重点的、効率的かつ効果的に推進します。

なお、本日の閣議において財務大臣から公共事業・施設費について5%を一つのめどとして執行をいったん留保するとの方針が示されたことから、次のように対応します。

- ①直轄事業：予算執行段階で原則として5%留保
- ②補助事業：社会資本整備総合交付金等について原則として5%留保して配分

《河川事業》

平成 16 年 10 月、平成 17 年 9 月に大規模な浸水被害を受けた仁淀川支川の波介川において、再度災害防止のための治水対策を推進すると共に、生活の安全安心を確保するため、吉野川や肱川等において、効果的な災害予防対策を継続します。また、河川の再自然化や湿地の復元など、環境再生のための河川整備事業等を地域の NPO 等と連携しつつ推進します。

《道路事業》

東南海・南海地震への備えや台風等頻発する自然災害への対応、地域の成長力・活力の支援、交通事故の抑制など、安全安心で豊かな暮らし・環境の実現に向け、四国 8 の字ネットワークの整備や渋滞対策、防災・震災対策、交通事故対策、無電柱化などの道路施策・事業を、重点的かつ効率的に推進します。

《港湾・空港事業》

今後 30 年以内に約 60～70% の高い確率で発生が予測される東南海・南海地震や津波、台風時の高潮などの災害に対応するため、緊急物資の搬入に必要な耐震強化岸壁の整備や、津波・高潮対策を推進し、安全で安心な社会の早期実現を目指します。また、外貿コンテナ貨物取扱量の増加や、バルク貨物を運搬する船舶の大型化に対応するため、国際・国内海上輸送機能の強化を図ります。

《空港事業》

成長戦略に基づき、四国の空港整備については、航空機の安全運航の確保に不可欠な施設の更新・改良等の事業を効率的・効果的に推進します。

《公園事業》

国営讃岐まんのう公園の平成 24 年度末概成開園に向けた整備を推進します。

Ⅱ. 平成23年度予算額（当初）

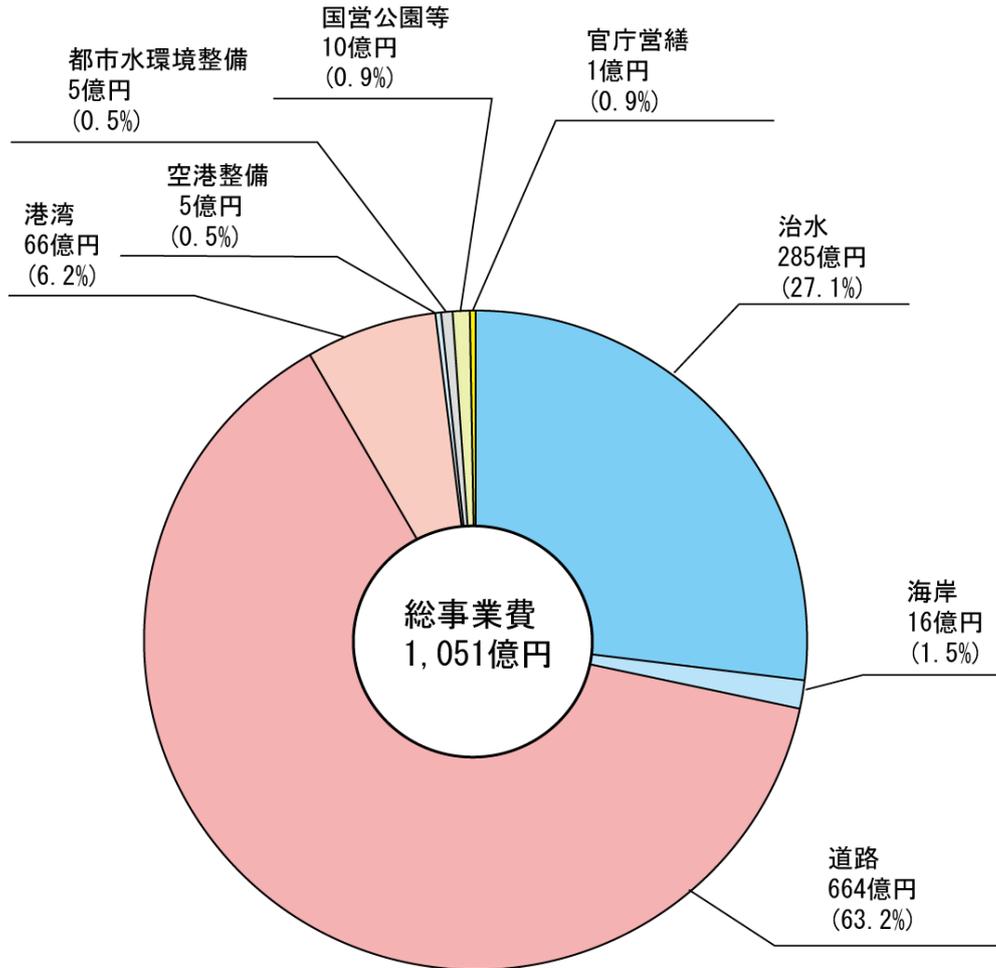
国土交通省関係公共事業等予算配分額

四国 2, 174 億円

直轄 1, 051 億円

補助・交付金 1, 123 億円

直 轄



※合計値は、四捨五入の関係で合わない場合がある。

補 助

区 分	配分額						
	補 助			交付金	計		
	本省配分	一括配分	計	本省配分	本省配分	一括配分	計
徳 島 県	1,599	300	1,899	20,470	22,069	300	22,369
香 川 県	5,106	0	5,106	16,765	21,871	0	21,871
愛 媛 県	1,301	0	1,301	36,567	37,868	0	37,868
高 知 県	282	0	282	26,769	27,051	0	27,051
4 県 計	8,288	300	8,588	100,571	108,859	300	109,159

平成23年度予算総括表（当初）

四国地方整備局

〔事業費〕

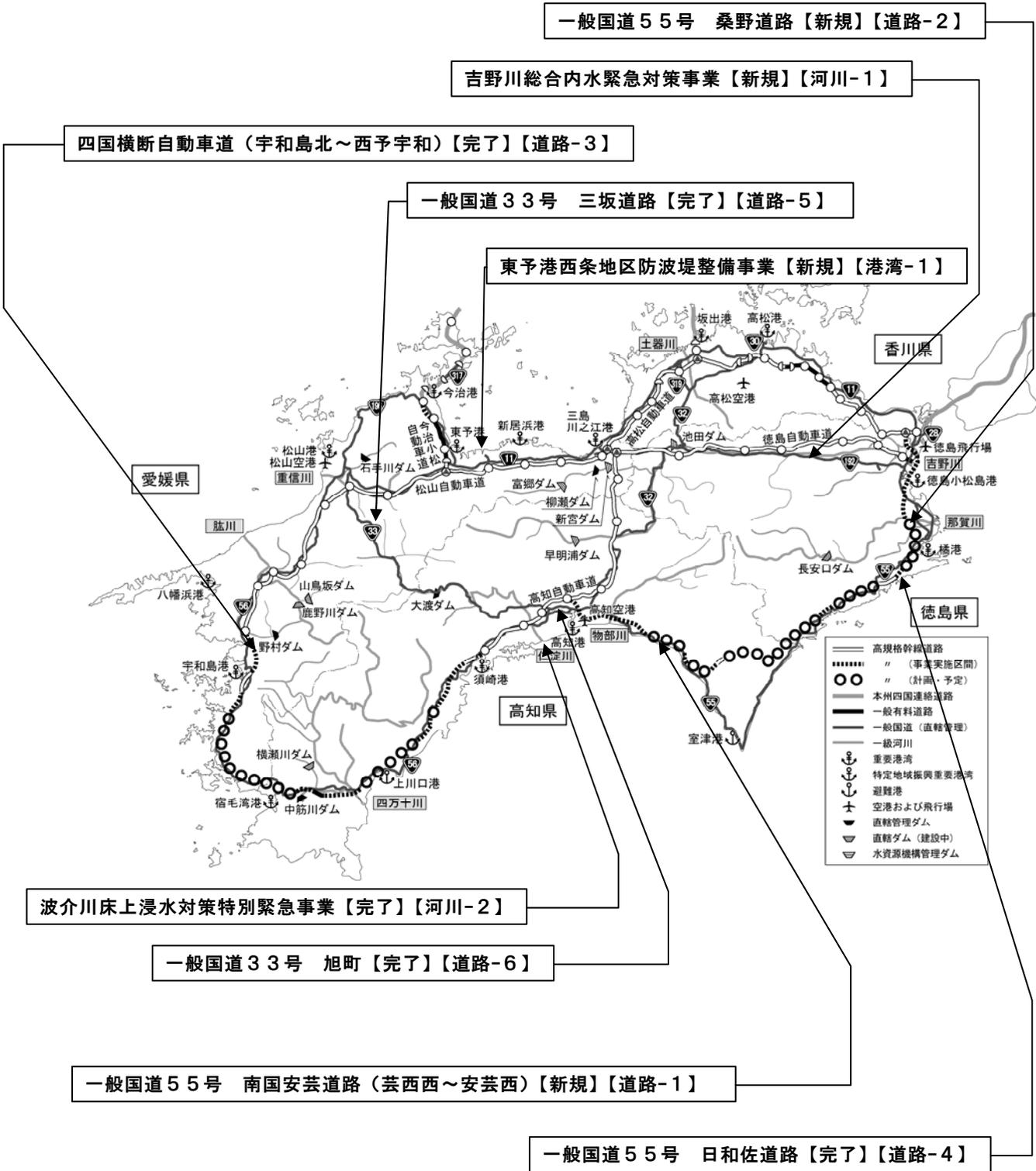
〔単位：百万円〕

	平成23年度当初予算			平成22年度 当初予算
	本省配分	一括配分	計	
治水	24,676	6,433	31,109	27,303
直轄	22,023	6,433	28,456	23,183
補助	2,653	0	2,653	4,120
海岸	1,604	0	1,604	1,890
直轄	1,604	0	1,604	1,640
補助	0	0	0	250
道路	48,379	21,074	69,453	76,201
直轄	45,669	20,774	66,443	70,218
補助	2,710	300	3,010	5,983
港湾	7,150	0	7,150	7,194
直轄	6,561	0	6,561	6,776
補助	589	0	589	418
空港整備	448	0	448	902
直轄	448	0	448	902
補助	0	0	0	0
市街地整備	2,336	0	2,336	1,310
補助	2,336	0	2,336	1,310
都市水環境整備	0	477	477	523
直轄	0	477	477	523
補助	0	0	0	0
下水道	0	0	0	777
補助	0	0	0	777
国営公園等	974	0	974	955
直轄	974	0	974	955
補助	0	0	0	0
社会資本総合整備	100,571	0	100,571	141,532
補助	100,571	0	100,571	141,532
一般公共事業計	186,139	27,984	214,123	258,587
直轄	77,280	27,684	104,964	104,197
補助	108,859	300	109,159	154,390
官庁営繕	0	130	130	994
直轄	0	130	130	994
合計	186,139	28,114	214,253	259,581
直轄	77,280	27,814	105,094	105,191
補助	108,859	300	109,159	154,390
地域再生基盤強化交付金	3176	0	3176	5,949
総計	189,314	28,114	217,429	265,530
直轄	77,280	27,814	105,094	105,191
補助・交付金	112,035	300	112,335	160,339

注1) 4月1日の閣議において財務大臣から公共事業・施設費について5%を一つのめどとして執行をいったん留保するとの方針が示されたことから、次のように対応する。

- ①直轄事業：予算執行段階で原則として5%留保
- ②補助事業：社会資本整備総合交付金等について原則として5%留保して配分
- 2) 地域再生基盤強化交付金は内閣府所管から移替えられる予算である。
- 3) 四捨五入の関係により合計値が異なる場合がある。

Ⅲ. 主な新規事業と完了(供用)予定事業



【主な新規予定事業一覧】

事業区分	直轄補助	事業名	県名	番号
河川事業	直轄	吉野川総合内水緊急対策事業	徳島県	河川-1
道路事業	直轄	一般国道55号 南国安芸道路（芸西西～安芸西）	高知県	道路-1
道路事業	直轄	一般国道55号 桑野道路	徳島県	道路-2
港湾事業	補助	東予港西条地区防波堤整備事業	愛媛県	港湾-1

【主な完了(供用)予定事業一覧】

事業区分	直轄補助	事業名	県名	番号
河川事業	直轄	波介川床上浸水対策特別緊急事業	高知県	河川-2
道路事業	直轄	四国横断自動車道（宇和島北～西予宇和）	愛媛県	道路-3
道路事業	直轄	一般国道55号 白和佐道路	徳島県	道路-4
道路事業	直轄	一般国道33号 三坂道路	愛媛県	道路-5
道路事業	直轄	一般国道33号 旭町	高知県	道路-6

主な新規事業と完了(供用)予定事業

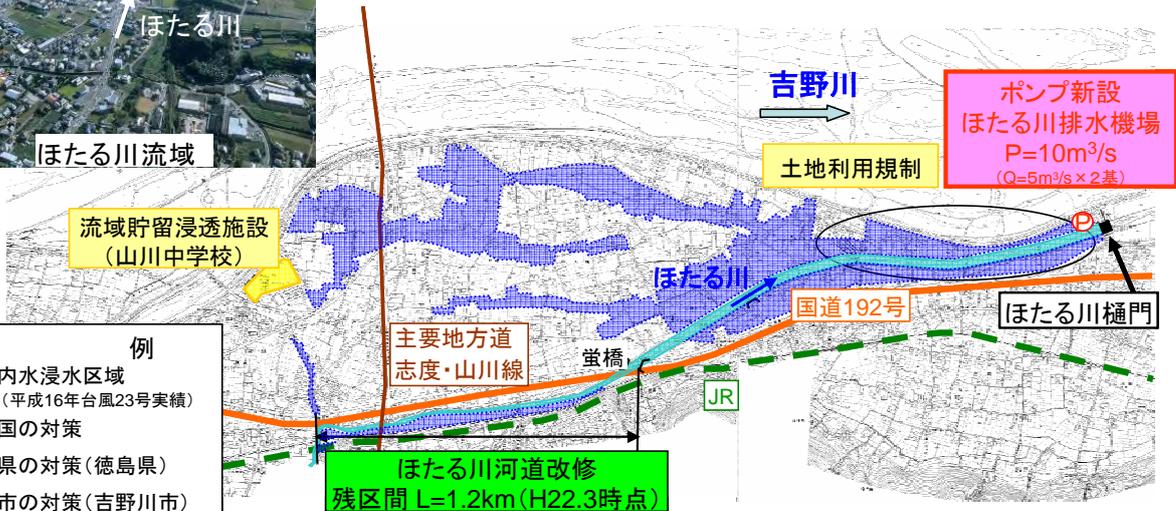
参考資料

河川事業	新規完了	吉野川総合内水緊急対策事業 (徳島県吉野川市)	河川-1
			直轄

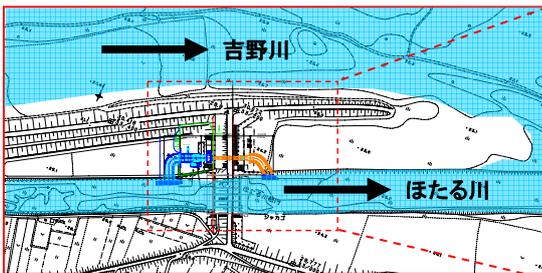
【事業の概要】

吉野川の支川ほたる川は、吉野川本川の水位が高いため、内水被害が頻発している。特に、平成16年10月台風23号において、排水ポンプ車により緊急的な内水排除を行ったものの、床上浸水被害が発生。

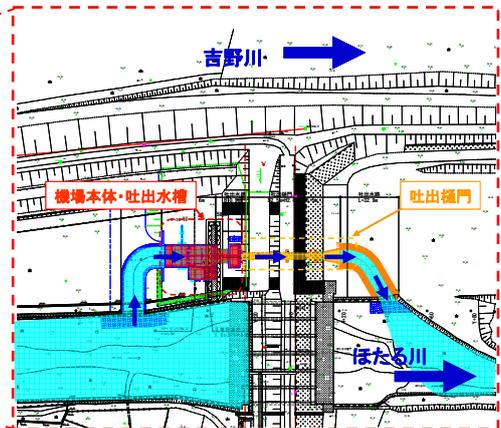
そのため、平成26年度の完成を目指し、「総合内水緊急対策事業」として、排水機場の新設、流域対策（流域貯留浸透施設、土地利用規制）を重層的に実施します。



凡	例
	内水浸水区域 (平成16年台風23号実績)
	国の対策
	県の対策(徳島県)
	市の対策(吉野川市)

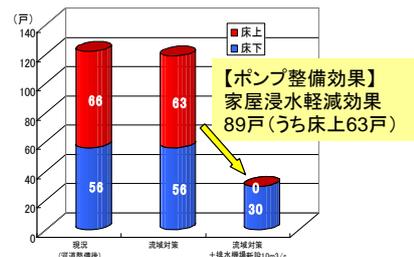


事業箇所平面図



【期待される整備効果】

近年で最大の被害が発生した平成16年10月洪水と同規模の洪水に対して、流域対策と一体的に対策を実施し、床上浸水被害を解消。



平成16年10月台風23号洪水規模に対する整備効果

【平成23年度の予定】

排水機場基礎工、仮設工を実施予定

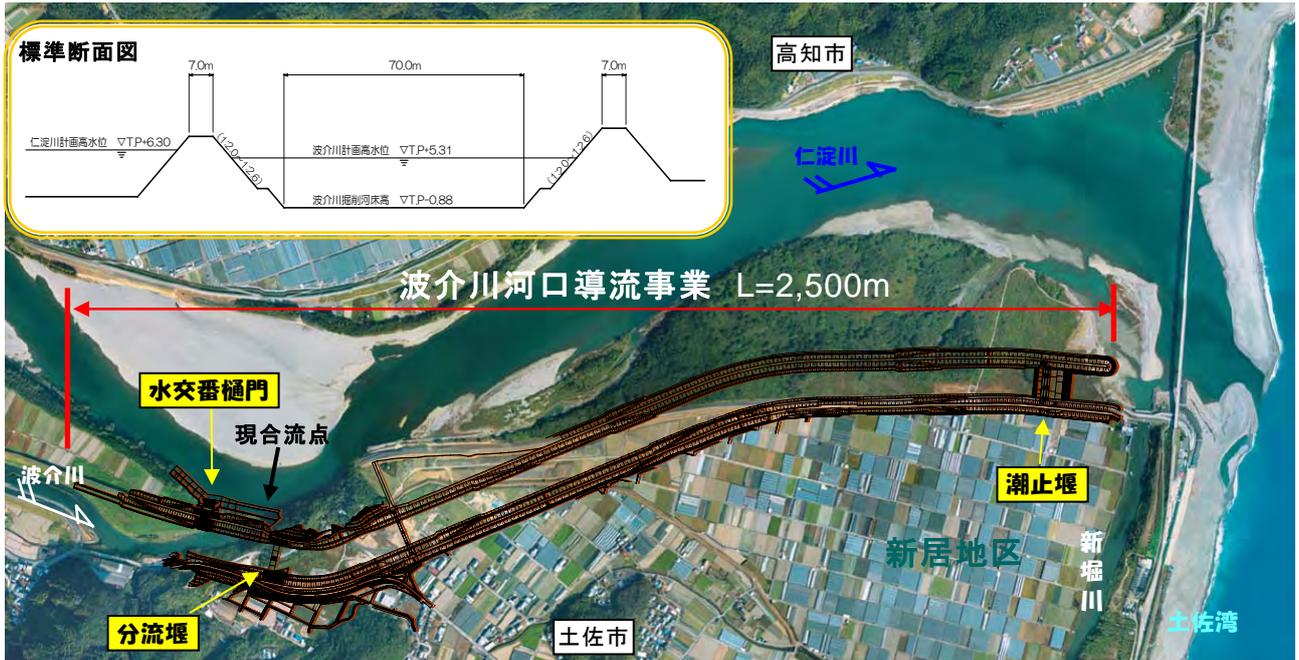
河川事業	新規完了	はげがわ 波介川床上浸水対策特別緊急事業（高知県土佐市）	河川-2
			直轄

【事業の概要】

波介川河口導流事業は、仁淀川の河口から約 2km 地点に合流する波介川を新川開削により河口まで導流し、洪水時の仁淀川本川の影響をなくすことで、波介川の水位を低減させ、浸水被害を大きく軽減することを目的としています。



平成 16 年 10 月洪水、平成 17 年 9 月洪水の大規模な浸水被害を受け、波介川河口導流事業の一部を「波介川床上浸水対策特別緊急事業」とし、平成 23 年度の通水を目指して短期集中的に事業を実施しています。

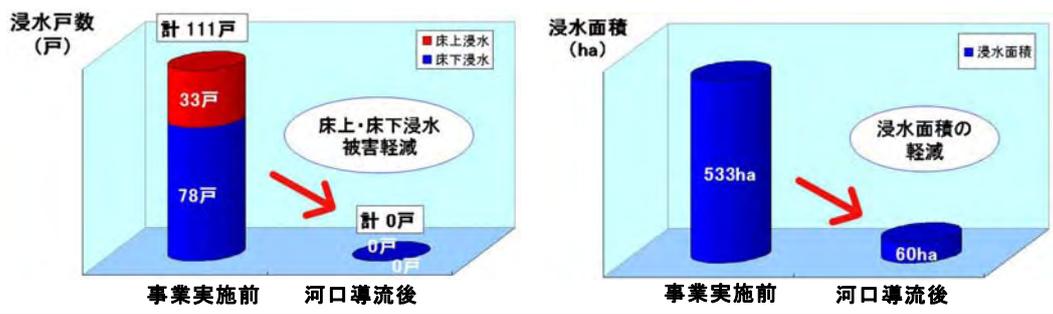


平成17年台風14号による浸水状況 (H17.9月)



【期待される整備効果】

平成17年洪水に対する効果



【平成 23 年度の予定】

築堤・護岸、河道掘削、潮止堰等の推進 床上浸水対策特別緊急事業を完成予定

道路 事業	新規 完了	高知 ^{こうちとうぶ} 東部自動車道	道路-1
		一般国道55号 南国安芸道路 ^{なんこくあき} (芸 ^{げいせいにし} 西 ^{あきにし} 西 ^{あきにし} ～安芸西)	直轄

【事業の概要】

高知東部自動車道は、高知県高知市から安芸市に至る延長3.6kmの一般国道の自動車専用道路であり、現在、高知市から安芸郡芸西村間の27.5kmが事業中です。



南国安芸道路(芸西西～安芸西)は、四国8の字ネットワークを形成する高知東部自動車道の一部であり、安芸郡芸西村から安芸市馬ノ丁に至る延長8.5kmの自動車専用道路です。

高知県東部地域は、現道部の異常気象時の路面冠水や東南海・南海地震による津波浸水によって現道が分断され、緊急輸送道路の確保が出来ない状態であり、また、救命救急を担う第3次救急医療施設に60分で到達できない地域が多く存在しています。

このような状況を踏まえ、東南海・南海地震時の緊急輸送道路確保、高知県東部地域の第3次救急医療施設への速達性向上を図るため、南国安芸道路(芸西西～安芸西)を新規箇所として要求します。



安芸市内の冠水状況

(国道55号安芸市赤野付近)



安芸市内の土砂流出状況

(国道55号安芸市穴内付近)

【期待される整備効果】

・ **東南海・南海地震における緊急輸送道路の確保**

異常気象時の路面冠水や東南海・南海地震による道路の津波浸水区間を一部回避でき、災害時における第1次緊急輸送道路が確保されます。

・ **第3次救急医療施設への速達性向上**

高知東部自動車道路の整備に伴い、第3次救急医療施設への搬送時間が短縮されます。

【平成23年度の予定】

芸西西IC(仮称)～安芸西IC(仮称) 調査設計の着手

道路 事業	新規 完了	あなん あき 阿南安芸自動車道	道路-2
		一般国道55号 桑野道路	直轄

【事業の概要】

阿南安芸自動車道は、徳島県阿南市から高知県安芸市に至る延長約110kmの地域高規格道路であり、これまで11.2kmが供用済みです。

桑野道路は、阿南安芸自動車道の一部を構成する道路で、阿南市下大野町から同市内原町に至る6.5kmの自動車専用道路です。

徳島県南地域は、現道部の異常気象時の路面冠水や東南海・南海地震による津波浸水によって現道が分断され、緊急輸送道路の確保が出来ない状態であり、また、救命救急を担う第3次救急医療施設に60分で到達できない地域が多く存在しています。

このような状況を踏まえ、東南海・南海地震時の緊急輸送道路確保、県南地域の第3次救急医療施設への速達性向上を図るため、桑野道路を新規箇所として要求します。



阿南市内の冠水状況
(国道55号阿南市富岡町付近)



【期待される整備効果】

・東南海・南海地震における緊急輸送道路の確保

異常気象時の路面冠水や東南海・南海地震による道路の津波浸水区間を一部回避でき、災害時における第1次緊急輸送道路が確保されます。

・第3次救急医療施設への速達性向上

高速ネットワークを連結することで、当該区間の整備に伴い、第3次救急医療施設への搬送時間が短縮されます。

【平成23年度の予定】

阿南IC (仮称) ~ 桑野IC (仮称) 調査設計の着手

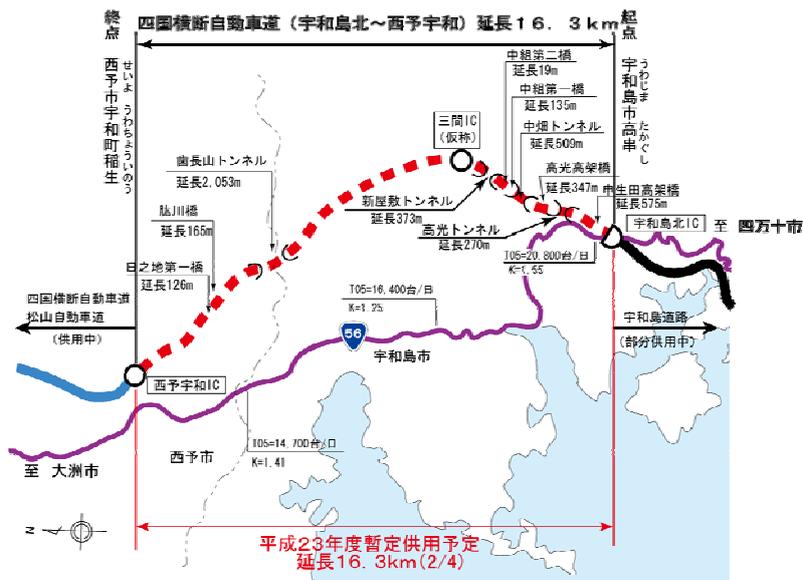
道路 事業	新規 完了	しこくおうだん 四国横断自動車道（宇和島北～西予宇和）	道路－3
			直轄

【事業の概要】

四国横断自動車道（宇和島北～西予宇和・延長 16.3km）は、四国における産業、経済、文化の発展に重要な役割を果たすとともに、高規格幹線道路ネットワークの機能強化及び今後想定される東南海・南海地震などによる災害時の代替路としての役割を担います。



平成 23 年度に全線暫定供用を図る宇和島北～西予宇和（延長 16.3km）は、一般国道 56 号の自動車専用道路である宇和島道路と松山自動車道とを接続し、愛媛県南予地域の発展に重要な役割を果たすものと期待されています。



工事の進む四国横断自動車道
(愛媛県宇和島市家藤付近)



工事の進む四国横断自動車道
(愛媛県宇和島市高串付近)

【期待される整備効果】

- ・ **物流の支援**
南予地域の特産品（真鯛、ハマチ等）の流通の利便性の向上が期待されます。
- ・ **安全で安心できるくらしの確保**
南予地域の第3次救急医療施設への搬送時間が短縮し、救命率の向上が期待されます。
- ・ **災害時における緊急輸送道路の確保**
第1次緊急輸送道路に指定されている国道56号の通行止め時の代替路線が確保されます。

【平成 23 年度の予定】

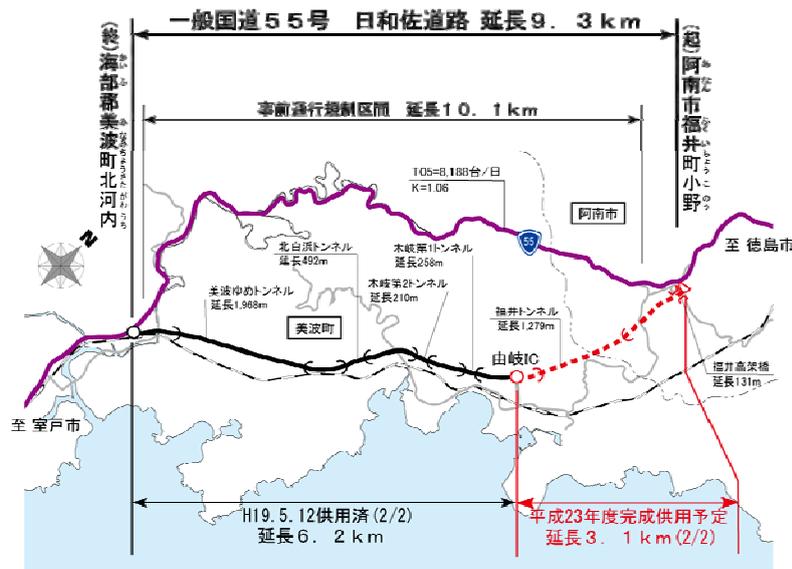
宇和島北 IC～西予宇和 IC 改良及び舗装工事の推進 L=16.3km全線暫定供用予定

道路事業	新規完了	一般国道55号 日和佐道路	道路-4
			直轄

【事業の概要】

日和佐道路は、国道55号の異常気象時における通行規制を解消し、地域の利便性向上などを図り、地域活性化を支援するものです。また、高規格幹線道路網の空白地帯である四国東南地域にとって重要な役割を担う地域高規格道路・阿南安芸自動車道の一部を構成する道路であり、災害時の緊急輸送道路として、徳島県の産業や経済の発展を担う重要な路線です。

今回の供用区間は、既供用区間と併せて全線供用となり、事前通行規制区間が解消されるとともに、災害発生時における緊急輸送道路としての機能することが期待されます。



現道部の災害状況 (平成22年度)
(徳島市海部郡美波町北河内付近)



工事の進む日和佐道路
(徳島県阿南市福井町小野付近)

【期待される整備効果】

・ **物流の支援**

県南地域における特産品(阿波尾鶏、伊勢エビ、アワビ等)の流通の利便性の向上が期待されます。

・ **安全で安心できるくらしの確保**

県南地域の第3次救急医療施設への搬送時間が短縮し、救命率の向上が期待されます。

・ **現道の事前通行規制区間を解消**

台風等の異常気象時における事前通行規制区間を解消し、災害に強く、緊急時の確実な移動サービスが可能となります。

【平成23年度の予定】

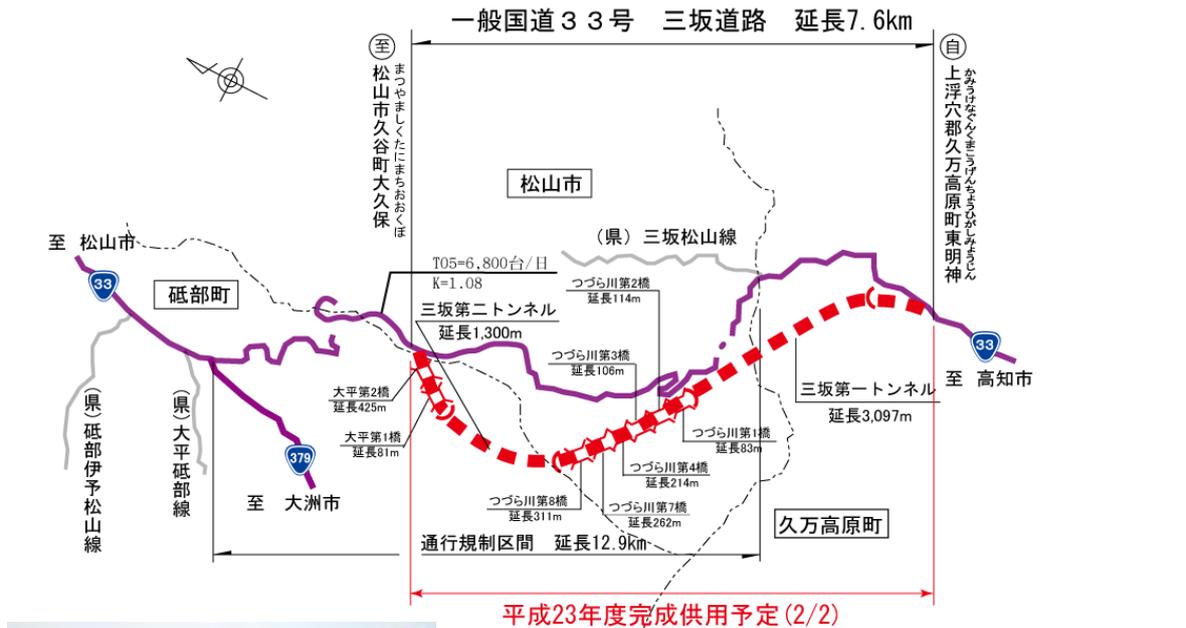
阿南市福井町小野～由岐IC 改良及び舗装工事の推進 L=3.1km完成供用予定

道路事業	新規完了	一般国道33号 <small>みさか</small> 三坂道路	道路-5
			直轄

【事業の概要】

みさか 三坂道路は、国道33号の線形不良箇所及び異常気象時における通行規制を解消し、また、冬期における積雪・凍結による通行障害の解消などを図り、地域の利便性向上など、地域活性化を支援するものです。また、地域高規格道路・高知松山自動車道の一部を構成する道路であり、災害時の緊急輸送道路の確保も図られるほか、都市間交流の一端を担う重要な路線です。

今回の供用区間は、事前通行規制区間が解消されるとともに、災害発生時の代替路線としての機能することが期待されます。



工事の進む三坂道路
(愛媛県松山市つづら川付近)



工事の進む三坂道路
(愛媛県上浮穴郡久万高原町東明神付近)

【期待される整備効果】

・ **現道の事前通行規制区間を解消**

台風等の異常気象時における事前通行規制区間や冬期通行障害を解消し、災害に強く、緊急時の確実な移動サービスが可能となります。

・ **安全で安心できるくらしの確保**

久万高原町立病院（第2次救急医療施設）から第3次救急医療施設への搬送時間が短縮し、救命率の向上が期待されます。

【平成23年度の予定】

上浮穴郡久万高原町東明神～松山市久谷町大久保 橋梁、改良及び舗装工事の推進
L=7.6km 全線完成供用予定

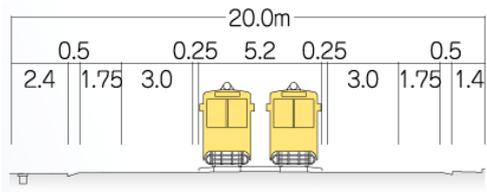
道路 事業	新規 完了	一般国道33号 旭町 <small>あさひまち</small>	道路-6
			直轄

【事業の概要】

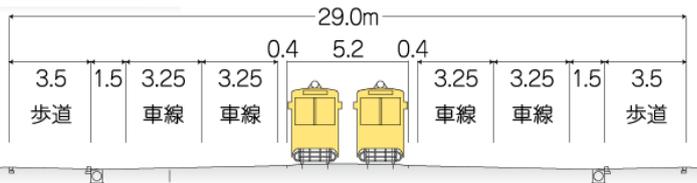
国道33号の高知市旭町の交通混雑の緩和及び交通安全の確保を図るとともに、幅員の確保・交差点改良・交通騒音の低減による沿道環境の改善を図ることを目的とした道路です。
 今回の供用により、沿道環境の改善や安全性の向上、地域交流の増加による地域の発展が期待されます。



現況



整備後



現道の歩道狭小状況
こうち こうち あさひまち
 (高知県高知市旭町)

【期待される整備効果】

- ・ **沿道環境の改善**
 朝夕の交通渋滞が緩和され、移動時間が短縮されます。
- ・ **安全性の向上**
 歩道幅が広くなり、歩行者が安心して通行が可能となります。また、交差点改良（右折車線の設置等）により、渋滞緩和・交通事故等の減少により安全性が向上します。

【平成23年度の予定】

こうちし あさひまち
 高知市旭町1丁目地内 改良及び舗装工事の推進 L=0.4km完成供用予定

港湾 事業	新規 完了	とうよこうさいじょうちく 東予港西条地区防波堤整備事業（愛媛県西条市）	港湾-1
			補助

【事業の概要】

東予港西条地区は、荒天時の波浪等を防御する防波堤が未整備のため、十分な静穏性が確保されておらず、安定的な荷役が困難となっており、非効率な輸送体系を強いられているだけでなく、港湾施設の損傷や流木等の打上げ、艀装船舶・工場施設への甚大な被害などにより、産業活動や市民生活に大きな支障と不安を与えています。



これらの課題を解消し、地域における産業活動や物流の確保等を目的として、平成23年度より防波堤整備事業に着手するものです。

なお、本事業は、企業合理化促進法に基づき、背後立地企業である今治造船(株)からの費用負担を得て実施するものです。



【期待される整備効果】

- ・岸壁前面の静穏性が向上することにより、非効率となっている輸送体系が解消されるとともに、東予港全体の貨物需要の増加への対応が可能となる。
- ・荒天時に、航行中の小型船舶の安全な避難が可能となるような静穏な水域が確保されるとともに、港湾施設や貨物浸水等を災害から防護し、港湾の物流機能が確保される。
- ・防波堤を整備することで、台風等の接近に伴う工場施設や艀装船舶の安全対策に係る費用が不要となり、生産力向上とこれに伴う安定的な地域の経済活動と雇用が確保される。
- ・荒天時の越波等による背後地への被害を低減し、住民生活の安全・安心が確保される。

【平成23年度の予定】

調査設計の着手